

2023年10月31日  
株式会社 愛知銀行

## あいぎんポジティブ・インパクト・ファイナンスの契約締結について

株式会社愛知銀行（頭取 伊藤 行記）は、加藤精工株式会社（本社 愛知県刈谷市、代表取締役 加藤 聡人）と、あいぎんポジティブ・インパクト・ファイナンスの契約を締結しましたのでお知らせいたします。

当行はこれからも、お客さまの多様化する資金調達ニーズに応え、SDGsの趣旨に賛同するお客さまとともに、持続可能な社会づくりを目指してまいります。

### 記

#### 1. 融資概要

契約締結日	2023年10月31日（火）
融資金額	300百万円
融資期間	20年
資金使途	工場建設資金

#### 2. 加藤精工株式会社の概要

本社所在地	愛知県刈谷市半城土町生出104番地12
代表者	加藤 聡人
事業内容	自動車部品製造
設立年月日	1960年4月1日
電話番号	0566-23-2312

#### 3. 特定されたインパクトと測定するKPI（2030年に向けた目標）

（1）持続的成長のための基盤構築
①2030年までに新規顧客3件獲得
②ISO9001の継続認定と、2030年度までに品質不具合年間0件を実現
（2）環境に配慮した取り組みの推進
①ISO14001の継続認定
②循環型社会を目指し、事業活動からの廃棄物量を2030年度に50%削減（2021年度比）
③CO2排出量を2030年度に50%削減（2013年度比）

(3) 働きやすい労働環境づくり

①男女問わず、2030年度までに育休取得率 100%

②2030年度までにタブレット導入率 100%

(豊田工場からスモールスタートし、作業日報のペーパーレス化、作業要領書のデジタル化を目指す)

<記念盾贈呈式の様子>



株式会社愛知銀行  
刈谷支店長 池村 隆

加藤精工株式会社  
代表取締役 加藤 聡人 氏

#### 4. ポジティブ・インパクト・ファイナンスについて

国際的な金融原則の枠組みに沿った融資商品で、お客さまの企業活動が環境・社会・経済に及ぼす影響を包括的に分析・評価（以下、「インパクト評価」）します。インパクト評価により特定されたポジティブな影響の増大とネガティブな影響の低減に向けた取り組みに対して目標（以下、「KPI」）を設定し、モニタリングを実施することで、当該取り組みを継続的に支援いたします。

KPIの達成に向けて取り組む過程を対外的に発信することで、お客さまの社会的評価の向上が期待されます。

本商品では当行がインパクト評価とモニタリングを実施します（※1）。

（※1）当行のポジティブ・インパクト・ファイナンス実施体系は、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）が制定したポジティブ・インパクト金融原則（PIF原則）への適合についてセカンドオピニオンを取得しています。

以 上

「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」評価書  
～加藤精工株式会社～

2023年10月31日  
株式会社愛知銀行  
営業企画部  
ファイナンス戦略グループ

## 目次

はじめに	2
1. 企業概要	2
①会社概要	
②沿革	
③許可・認証取得一覧	
④ビジネスモデル図	
⑤経営理念	
2. 事業内容	8
①取扱製品	
②加工技術	
③保有設備	
3. 地域の課題解決に向けた取り組み	12
①愛知県の指標	
②加藤精工株式会社の取り組み	
4. インパクトの特定	18
①インパクトマッピングによるインパクト分布	
②インパクト分布図（掲載は主要業種のみ）	
③国内のインパクトニーズ	
④特定したインパクトに対する愛知銀行の方向性との確認	
5. 測定する KPI	24
①成長を持続させるための社内体制整備	
②環境に配慮した取り組みの推進	
③働きやすい労働環境づくり	
6. インパクト管理体制	26
7. モニタリング方法	26
8. 総括	26

## はじめに

株式会社愛知銀行は、加藤精工株式会社の事業が「環境」・「社会」・「経済」に与えるインパクトを分析・評価し、「あいぎんポジティブ・インパクト・ファイナンス（以下、あいぎん PIF）」を実行した。

なお、株式会社愛知銀行は、国連環境計画金融イニシアティブ（以下、UNEP FI という）が策定した「ポジティブインパクト金融原則」、及び、環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則ったうえで、加藤精工株式会社の事業活動を分析・評価し KPI を設定した。

### <融資条件概要>

融資形態	証書貸付
融資金額	300,000,000 円
資金用途	工場建設資金
融資	20 年

## 1. 企業概要

### ①会社概要

会社名	加藤精工株式会社
創立	1954 年 4 月 1 日
設立年月日	1960 年 4 月 1 日
資本金	50,000,000 円
代表取締役	加藤 聡人
事業内容	自動車部品
本社所在地	愛知県刈谷市半城土町生出 104 番地 12
岐阜工場	岐阜県山県市大桑 4188
豊田工場	愛知県豊田市生駒町横山 118
従業員数	226 名（2023 年 8 月 1 日現在）
決算日	8 月 31 日
主な取引先	株式会社アイシン トヨタ紡織株式会社 シロキ工業株式会社 アイシン辰栄株式会社 他 27 社

## ②沿革

年	概要
1954年	刈谷市半城土町にて加藤栄三により創業
1960年	法人改組 有限会社加藤鉄工所（資本金 200 万円）
1965年	愛知県知事表彰を受賞（設備合理化優良企業）
1966年	法人改組 加藤精工株式会社（資本金 1,000 万円）
1967年	岐阜県山県郡高富町（現山県市）に岐阜工場完成
1989年	豊田市生駒町に豊田工場完成
1994年	お客様より納期優秀賞を受賞
1999年	お客様より技術優秀賞を受賞
2004年	お客様より原価優秀賞を受賞
2005年	お客様より V A / V E 活動優秀賞を受賞
2009年	お客様より品質優良賞を受賞
2016年	お客様より V A ・ V E 推進優秀賞を受賞
2017年	資本金 5,000 万円に増資
2018年	お客様より品質優秀賞を受賞
2019年	お客様より技術賞を受賞
2022年	お客様より S S A 推進賞（品質に関する改善活動）を受賞
2022年	刈谷 S D G s アワード（刈谷商工会議所） 優秀賞を受賞
2023年	かりや健康づくりチャレンジ（刈谷市） 優秀賞を受賞
2023年	健康経営優良法人（日本健康会議） 中小規模法人 認定
2024年	新工場稼働予定

## ③許可・認証取得一覧

年	区分	許認可名等	行政区分等	取得営業所
2001年	品質 マネジメント	ISO9001	（一財）日本品質保証機構	
2002年	環境 マネジメント	ISO14001	（一財）日本品質保証機構	豊田工場
2004年	環境 マネジメント	ISO14001	（一財）日本品質保証機構	岐阜工場

【ロゴマーク】



【刈谷本社】



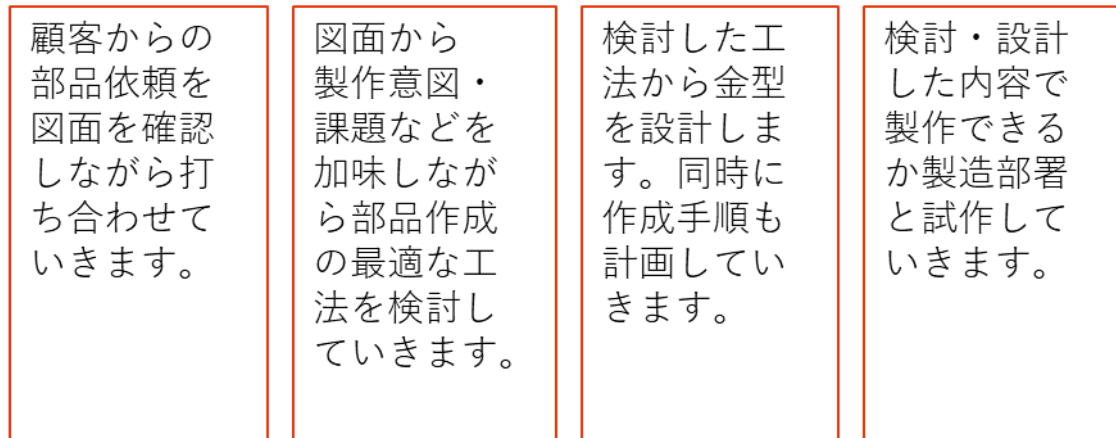
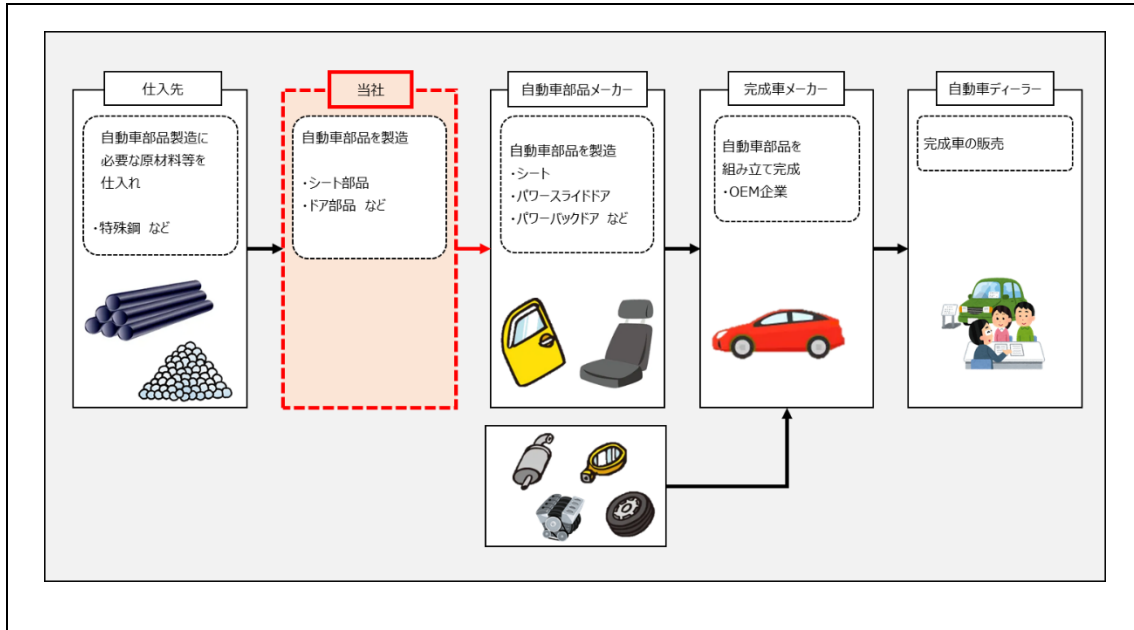
【豊田工場】



【岐阜工場】



#### ④ ビジネスモデル図



試作からの改善点を踏まえて、6Sと標準作業を徹底して量産していきます。



## ⑤経営理念

### 経営理念

「お客様に喜ばれる商品を創造し、豊かな社会に貢献する。」  
「個性とチャレンジ精神を尊重し、若さと夢あふれる企業を目指す。」

常に次世代の半歩先を行く先進的な姿勢を基本に「Challenge（挑戦）」  
「Creation（創造）」「Confidence（信頼）」の3C精神をこれからのテーマとして、環境配慮形経営の実現も視野に含めていきます。さらに、従来までの受注生産主流のパーツメーカーから、企業提案力を強みとした技術面でのパートナーとなる新時代のパーツメーカーを目指し、これまで以上に期待と信頼に応えていきます。

### 品質方針

「品質至上」を基本に、満足と信頼を得る製品を提供する。

## ～社長メッセージ～

私たち加藤精工株式会社は1954年の創業以来、従業員や多くの取引先の皆様に支えられながら事業を行なってきました。

特に60年以上にわたり自動車部品製造というモノづくりを通じて社会の役に立とうと努力してきました。

今、この社会が必要としている会社の姿は何だろう……それは常に変わり続ける社会の要求や多様な課題に目を向け、柔軟性を持ってそれらの解決に向けた姿勢と成果を出す会社、つまり社会の役に立つ会社であると考えています。少子高齢化、SDGs、カーボンニュートラル、D&I、働き方改革……これまで私たちが培ってきたモノづくりという事業基盤の上にそれらへの対応を加え、常に新たな姿に進化し続けることが、この社会においての私たち加藤精工の使命であると考えています。

## 行動憲章と行動指針

私たち加藤精工の全社員は、「優れた技術と品質を追求し続け、創り出したパーツで人々の暮らしを安全で快適にします」を使命とし、企業活動を通じて社会、地球の持続可能な発展に積極的に貢献します。

### 1. 〈安全・品質〉

私たちは、安全性に十分配慮して、社会的に有用な商品・サービスを開発、提供し、消費者・ユーザーの満足と信頼を獲得します。

### 2. 〈コンプライアンス〉

私たちは、公正、透明、自由な競争を行います。法を守ることはもとより、社会的良識を踏まえて取引を行います。また、政治、行政との健全かつ正常な関係を保ち、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会勢力や団体とは一切関係を持ちません。

### 3. 〈コミュニケーション〉

私たちは、企業活動に関係するすべての人々や組織と積極的にコミュニケーションを行い、健全な関係の維持・発展に努めます。

### 4. 〈人権・労働〉

私たちは、従業員の人格、個性、多様性を尊重するとともに、安全で働きやすい環境を確保し、ゆとりと豊かさを実現します。

### 5. 〈環境〉

私たちは、環境問題への取り組みは人類共通の課題であり、企業の存在と活動に必須の要件であることを認識し、自主的、積極的に行動します。

### 6. 〈企業市民活動〉

私たちは、地域の文化や慣習を尊重するとともに、地域に密着した企業市民活動に積極的に取り組みます。

### 7. 〈経営トップの姿勢〉

経営トップは、本憲章の精神の実現に自ら率先垂範のうえ取り組むとともに、社内外の声を把握し、社内への徹底、仕入先など関係者への周知に努めます。なお、本憲章に反するような事態が発生したときには、経営トップ自らが問題を解決するために必要な措置を講じるとともに、自らも含めて厳正な処分を行います。

## 2. 事業内容

加藤精工株式会社は、精密加工部品の製造業者である。主に鉄製の精密部品を製造しており、自動車関連部品を主とし、住生活部品・鉄道部品などを製造している。

事業内容の大半を占める自動車関連部品は、自動車シート・ドア・ハンドル・駆動機構の部品を生産しており、車の安全性を支える重要なパーツを生産している。

### <生産体制>

#### 刈谷本社

総務部・安全衛生部・品質保証部・管理部

#### 豊田工場

「精密切削」のための CNC 切削機を完備

ドア・ヒンジ、シートシャフト、パーキングブレーキ、ピストンなど高精密部品の生産  
最新鋭の圧造機も完備しています。



## 岐阜工場

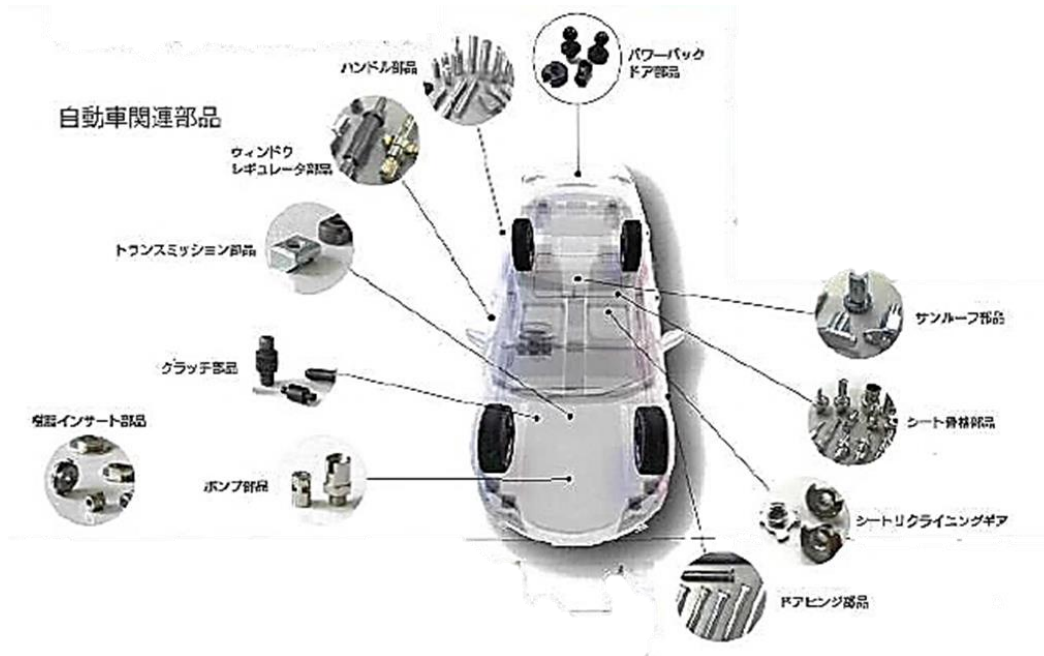
「冷間圧造棟」と「精密切削棟」で構成され、高精度で効率的な自動化生産ライン  
「冷間圧造棟」は完全自動化を実現しています



## ①取扱製品

### 自動車関連部品

ポンプ部品 クラッチ部品 トランスミッション部品  
ハンドル部品 パワーバックドア部品 ウィンドウレギュレータ部品  
サンルーフ部品 シート骨格部品 シートリクライニングギア  
ドアヒンジ部品



### 北陸新幹線 (E7 系かがやき)

グランクラスシート部品

### 電動シャッター部品

### 家庭用コージェネシステム部品

## ②加工技術

### 冷間圧造

金型（パンチとダイス）に原料となる鉄を押し込み、部品の形状を作り上げる塑性加工。

トランスファー（搬送装置）を使い 1 台の設備で多段の加工を行うことができ、より複雑な形状の加工ができる。加工スピードが1分間に 40～120 個程度と早く、かつ材料ロスが極めて少なく生産性も高い。



### 切削

切削は、角状または棒状の加工物を NC 旋盤などの設備を用いて、その表面を削り取り要望の形状・寸法に加工する技術。特に高い精度を要求される自動車部品では不可欠な加工方法で、品質及び生産効率向上に様々なノウハウが生かされている。



### 転造

加工物を型（ダイス）に挟み、転がして加工する塑性加工。転造は切削のように材料を削り落さない為、材料ロスが無く、加工スピードも早く生産性に優れている。また転造は、ファイバーフローを破壊することなく加工でき、切削に比べ製品の強度が向上する。



それぞれの加工技術を融合し、高品質・高精度で部品を生産

【冷間圧造+切削】



【冷間圧造+転造】



### ③測定設備

計測機器類	メーカー
3次元測定器	東京精密
引張試験機	島津製作所
マイクロスコープ	キーエンス
表面粗さ・輪郭形状統合測定機	東京精密
顕微鏡	ミットヨ
画像測定機	キーエンス
ビッカース硬度計	ミットヨ ほか
偏心度測定機	ユニバーサルパンチ
投影機	ミットヨ ほか
精密秤	イシダ
打撃試験治具	－
試料研磨機	ウインゴー
試料切断機	平和テクニカル
樹脂埋込機	ウインゴー
ゲージ類	OSG ほか
ノギス・マイクロ等一般測定器	ミットヨ ほか

### 3. 地域の課題解決に向けた取り組み

#### ①愛知県の指標

加藤精工株式会社は、本社を愛知県刈谷市、工場を愛知県豊田市・岐阜県に構えており、愛知県を中心に事業展開している。

愛知県においては、リニア中央新幹線が全線開業しスーパー・メガリージョンの形成が期待される 2040 年頃を展望し、2030 年度までに重点的に取り組むべき政策の方向性を示す「あいちビジョン 2030」を 2020 年 11 月に策定した。2030 年度に向けた基本目標として「暮らし」、「経済」、「環境」の指標に加え、SDGs に関連する目標として「重要政策の方向性」を掲げている。

#### <重要政策の方向性> (一部抜粋)

重要政策の方向性	主要な政策の方向性	内容等
すべての人が生涯にわたって活躍できる社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆女性の活躍促進</li> <li>・活躍の場の拡大と職場定着の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性をはじめとした様々な主体の参画</li> <li>・働く場での女性の活躍拡大</li> </ul>
豊かな時間を生み出す働き方が可能な社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆新技術を活用した効率的な働き方の促進</li> <li>・省力化や無人化の促進</li> <li>・移動の効率性向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働時間の短縮や生産性の向上</li> <li>・職場の省力化や無人化を促進</li> <li>・Maas や自動運転の社会実装を推進</li> <li>・移動時間の最適化や効率的な活用</li> </ul>
イノベーションを巻き起こす力強い産業づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆次世代産業の振興</li> <li>・自動車産業の振興</li> <li>・戦略的な産業集積の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CASE、Maas 等自動車産業の変革期をリード</li> <li>・EV、PHV 等次世代自動車の更なる普及拡大</li> <li>・長年県内に立地している企業の再投資</li> <li>・産業集積や投資を促進</li> </ul>
持続可能な地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆脱炭素社会を見据えた地球温暖化対策の推進</li> <li>・再生可能エネルギー当の導入拡大と地産地消の推進</li> <li>・環境・新エネルギー産業の振興と E S G 投資の呼び込み</li> <li>・廃棄物の適正処理に向けた取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生可能エネルギーの主力電源化</li> <li>・太陽エネルギーの更なる活用</li> <li>・グリーン購入の促進</li> <li>・省エネルギー設備の導入</li> <li>・再生可能エネルギーの利用</li> <li>・プラスチックごみへの対策</li> <li>・製造、流通、使用、廃棄における 3 R</li> </ul>

## ②加藤精工株式会社の取り組み

### i) 多様な人財・働き方に対応をした職場づくり

加藤精工株式会社は多様な人財・働き方に対応をした職場づくりに力を入れている。LGBTQ への取り組みとして全社員を対象にした LGBTQ 研修の実施、就業規則の見直しを行っている。また、障がい者雇用と定着支援の取り組み及び女性も働きやすい職場づくりを行うことで、年齢・国籍・人種・障がいの有無・宗教・性的志向や性自認など、様々なバックグラウンドを持った人が働きやすい職場づくりを推進している。

### ◆LGBTQ 活動の取り組み

加藤精工株式会社では、多様な社員が働きやすい環境を整えるべく以下の活動を取り組んでいる。

#### 社内勉強会の実施

LGBTQ・性の多様性について知識を得るべく、定期的に LGBTQ に関する社内勉強会を各工場で継続して行っている。(2021年12月～)

#### 就業規則の見直し

1. 慶弔金・育児休業の対象を「養子縁組の関係にあった養子」も含める
2. 配偶者の定義を、婚姻、事実婚もしくは同姓パートナーも含める内容に変更。
3. 慶弔金・慶弔休暇の対象を同姓パートナーがいる従業員も対象とする。
4. 有給休暇とは別で傷病の際などに使える「あんしん休暇」があるが、性適合手術、ホルモン治療も対象として追加

#### LGBTQ・性の多様性をテーマにしたイベントへの登壇や参加

- 2019年 LGBTQ/SOGI×職場をテーマにしたイベント「Working Rainbow EXPO2019」  
2020年 愛知県刈谷市「日本女性会議 2020 あいち刈谷」  
2021年 愛知県「人権ユニバーサルイベント」  
2021年 LGBTQ/SOGI×職場をテーマにしたイベント「Working Rainbow EXPO2021」  
2021年 岐阜県「性的指向・性自認の多様性を理解するオンラインセミナー」  
2022年 三重県「誰もが働きやすい職場づくりを考える～性の多様性について理解を深める～」





**LGBTQ・性の多様性に関する受賞・認定履歴**

2021年	刈谷SGDsアワード（刈谷商工会議所主催）最優秀賞受賞 取組テーマ「多様性を認め合う～差別を生まない社会～」
2021年	山県市さくらカンパニー（岐阜県山県市）さくらステップ3認定取得
2022年	PRIDE指標（一般社団法人work with Pride主催）ゴールド認定取得
2022年	あいち女性輝きカンパニー（愛知県）認定取得
2022年	刈谷ハーモニーカンパニー（刈谷市）認定取得

【山県市さくらカンパニー】



【あいち女性輝きカンパニー】



【刈谷市ハーモニーカンパニー】



## ii) 環境への取り組み

加藤精工株式会社は「ISO14001」にもとづき、ごみ分別、排出量の計量・記録、廃油の適正処理を行うとともに、生産性向上・業務効率化により、廃棄物の削減にも積極的に取り組んでいくことで持続可能な社会の実現を目指している。

### ◆環境方針

#### 環境基本理念

地球環境の保全が人類共通の重要課題であることを認識し、企業活動のあらゆる面で、地球環境の継続的な改善及び汚染の予防に配慮して行動する。

#### 環境方針

自動車部品の製造及び組付けを主な業務としている。これらを踏まえ、以下に基づき環境マネジメントシステムの継続的な改善及び汚染の予防を推進し、環境保護に対して協力していくことを約束する。

- (1) 当社の事業活動、製品又はサービスによる環境への影響を評価し、重要な項目については、技術的かつ経済的に可能な範囲で、目標を定め、これを実施し、その結果の見直しを行って、環境パフォーマンスを向上させるための環境マネジメントシステムの継続的な改善を図る。
- (2) 関連する環境法規制及び受入れを決めた協定を遵守する。
- (3) 当社が行う事業活動の全段階を通じて、環境に与える影響の中で、生産性向上、業務効率化、及び慢性的ロス等マイナス要素の改善活動を含めた、省資源、省エネルギー、及び廃棄物の削減等に優先的に取り組む。
- (4) 全従業員に対し、環境に関する教育及び意識向上活動を実施する。
- (5) 環境方針は、文書により全従業員に周知させ、社外にも公開する。

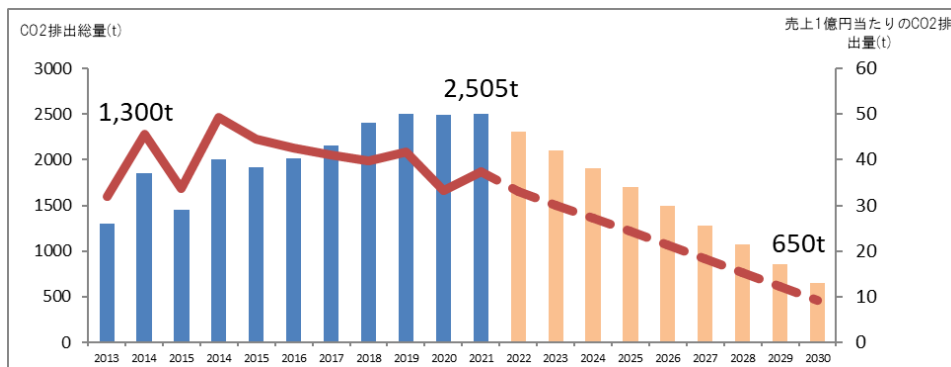
## TCFD への取り組み

加藤精工株式会社では、生産活動における CO<sub>2</sub>排出量の削減と、サプライチェーンにおける CO<sub>2</sub>排出量の削減の 2 軸で考え、2030 年までの CO<sub>2</sub>排出量の削減を設定している。

2030 年までに生産における CO<sub>2</sub>排出量を 50%削減する（2013 年度比）ことを目指す。

今後は、エネルギーのジャスト・イン・タイムに励み、サプライヤーと連携し、カーボンニュートラルの実現を目指す。

## 生産活動における CO<sub>2</sub>排出量の削減目標



## 節電と節水への取り組み

節電の一環として、蛍光灯を LED に取り換え

一部を除き昼休憩中は消灯を実施。



### 社用車に PHV 車やハイブリッド車を積極導入

社用車にはハイブリッド車などのエコカーを積極導入

災害時の電源にするという意味合いもかねて、PHV 車も 1 台導入

今後はリモート作業の増加を想定し、エコも含めて社用車を減らすことも視野



### カーボンニュートラルに向けて

これまでの省エネ活動に加え、「ぎふ清流 Green でんき」「CO<sub>2</sub>フリー電気」などの電力を積極的に活用



## 4. インパクトの特定

### ①インパクトマッピングによるインパクト分布

愛知銀行は事業性評価の分析により加藤精工株式会社の主要、関連業種を特定し、UNEP FI が推奨するインパクトマッピングからポジティブインパクト及びネガティブインパクトの分布を調査した。分布図中の「赤色」は重要な影響があるカテゴリ、「黄色」は影響があるカテゴリを示す。加藤精工株式会社の事業活動を通じて関与できるカテゴリに限定して影響を検討する。

### ②インパクト分布図（掲載は主要業種のみ）

【当社の川上における事業のインパクト】

	第一次鉄鋼製造業 (2410)		他に分類されない その他の金属製品製造業 (2599)		自動車部品 及び 付属製品製造業 (2930)	
	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ
水(可用性)						
食料						
住居	黄色					
健康・衛生		黄色				
教育						
雇用	黄色	黄色	黄色	黄色	黄色	黄色
エネルギー						
移動手段 (モビリティ)					黄色	黄色
情報						
文化・伝統						
人格と人の 安全保障						
正義・公正						
強固な制度・ 平和・安定						
水(品質)		黄色		黄色		黄色
大気		黄色		黄色		黄色
土壌		赤色				黄色
生物多様性と 生態系サービス						
資源効率・ 安全性		赤色		黄色		赤色
気候		黄色		黄色		赤色
廃棄物		黄色		黄色		黄色
包括的で 健全な経済	黄色		黄色		黄色	
経済収束					黄色	

川上の業種として、第一次鉄鋼製造業及び他に分類されないその他の金属製品製造業を掲載している。当社は、主に自動車部品製造業であるが、特殊鋼等の原材料の仕入れを行っている。また、販売先である部品メーカーから材料支給を受けていることから、自動車部品製造業を川上の業種としても位置付けている。

川上の事業では、主に環境面のネガティブインパクトが挙げられるものの、当社が直接関与できる部分は少ない。

【当社における事業のインパクト】

	金属の鍛造、プレス、 打ち抜き及び圧延成形業 並びに粉末冶金業 (2591)		自動車部品 及び 付属製品製造業 (2930)	
	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ
水(可用性)				
食料				
住居				
健康・衛生				
教育				
雇用				
エネルギー				
移動手段 (モビリティ)				
情報				
文化・伝統				
人格と人の 安全保障				
正義・公正				
強固な制度・ 平和・安定				
水(品質)				
大気				
土壌				
生物多様性と 生態系サービス				
資源効率・ 安全性				
気候				
廃棄物				
包括的で 健全な経済				
経済収束				

当社の事業では、「雇用」「移動手段」「包括的で健全な経済」のカテゴリにおいてポジティブインパクトが期待できる。「雇用」については、LGBTQ への取り組み、障がい者に対して障がいの特性に応じた就業配慮を実施するとともに、障がいのある社員とそうでない社員が、一緒に気持ちよく働くことができる環境づくり、女性が働きやすい職場づくり及び 65 歳定年後の再雇用の取り組み等多様な人材が活躍できるような仕組みづくりを行っている。「移動手段」については、自動車部品メーカーとして、ニーズに即した部品を当社の強みである冷間圧造・切削・転造技術により高品質・高精度で提供することで自動車業界を支えている。「包括的で健全な経済」については、市場への的確な製品供給を通じてサプライチェーンを支えている。

製造・加工工程においては、環境面のネガティブな影響に配慮する必要がある。当社では、環境マネジメントの国際規格「ISO14001」にもとづき、ごみ分別、ごみの排出量の計量・記録、廃油の適正処理を行うとともに、生産性向上・業務効率化により、廃棄物の削減にも積極的に取り組んでいる。また、地球環境汚染の予防を目的とした「環境事故訓練」を実施している。機械用の油を多く使用していることから、主に工場からの様々な油の流出パターンを想定した訓練を行い、第一報から緊急連絡網の確認、実際に備品を使用するの処置訓練を行っている。事故を発生させない環境整備を前提として進める一方で、近年の想定出来ない豪雨での油流出等の実例を受け、訓練による事後の迅速な対応ができるよう取り組んでいる。カーボンニュートラルに向けて、「ぎふ清流 Green でんき」「CO<sub>2</sub>フリー電気」等の積極的な活用、社用車へのPHV車及びハイブリッド車の導入に加え、リモート会議を導入し移動に伴い発生するCO<sub>2</sub>の削減を図っている。今後はTCFDへの取り組みとしてサプライヤーへの支援を行うことを予定している。省エネルギーの取り組みとして、蛍光灯をLEDに取り換え、一部を除いて昼休憩中は消灯を実施している。電気や水道の利用量については本社だけではなく各工場長が確認しコスト管理及び効率を意識している。

【当社の川下における事業のインパクト】

	自動車部品 及び 付属製品製造業 (2930)		自動車製造業 (2910)	
	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ
水(可用性)				
食料				
住居				
健康・衛生				
教育				
雇用				
エネルギー				
移動手段 (モビリティ)				
情報				
文化・伝統				
人格と人の 安全保障				
正義・公正				
強固な制度・ 平和・安定				
水(品質)				
大気				
土壌				
生物多様性と 生態系サービス				
資源効率・ 安全性				
気候				
廃棄物				
包括的で健全 な経済				
経済収束				

川下の事業として、自動車部品製造業及び自動車製造業を掲載している。

「移動手段」においてポジティブな影響が考えられる。ニーズに即した部品提供を通じ、自動車業界を支える商品の製造に貢献する。

ネガティブなインパクトとして、「気候」が主に挙げられる。自動車業界が気候変動対策としてEVシフトの動きが活発になる中で、当社としてはブレーキ部品の製造、EV車の課題として挙げられる軽量化に対してシート部品の軽量化を図ることで貢献している。

※インパクト分析のまとめ

主要業種の分析結果として、主に雇用、移動手段及び包括的で健全な経済のポジティブインパクトの拡大が期待できる。車内の快適環境や安全性を高める部品提供を行うことで自動車業界を支えている。また、工場内のロボット化や労働環境の整備を進めることで女性の



積極登用を行っている。ネガティブインパクト低減については、主に環境面において設備導入や環境負荷削減に資する取り組みを行うことで低減を図っている。

上記分析を踏まえ、KPIを設定する。

### ③国内のインパクトニーズ

下記に示したのは、「SDGs インデックス&ダッシュボード 2023」を参照したものであり、「SDGs 達成を緑色」、「課題が残っている SDGs を黄色」、「重要な課題を橙色」、「主要な課題を赤色」としている。

「4.インパクトの特定」において愛知銀行が特定した加藤精工株式会社のインパクトと対応する SDGs のゴール「5、8、9、12、13」について、多くが課題のあるゴールに該当するものとなっており、国内のインパクトニーズと整合的である。




特定したインパクトカテゴリー	対応する SDGs のゴール
雇用	5「ジェンダー平等を実現しよう」
雇用	8「働きがいも経済成長も」
移手段、包括的で健全な経済	9「産業と技術革新の基盤を作ろう」
資源効率・安全性、廃棄物	12「つくる責任、つかう責任」
気候	13「気候変動に具体的な対策を」

#### ④特定したインパクトに対する愛知銀行の方向性との確認



愛知銀行グループは、経営理念である「地域社会からの信頼を大切にし、地域社会の繁栄に貢献します」に基づく事業活動を通じて、「地域の発展」と「企業価値の向上を目指すとともに、持続可能な地域社会の実現に貢献すること」をサステナビリティ方針として掲げている。上記分析で特定した加藤精工株式会社の事業活動によるインパクトは、愛知銀行グループのサステナビリティ方針と整合的である。

## 5. 測定する KPI



### ①持続的成長のための基盤構築

項目	内容
インパクトの種類	経済面・社会面でのポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリー	「包括的で健全な経済」「移動手段」
関連する SDGs	
対応方針	①お客様に喜ばれる商品を創造するとともに、豊かな社会に貢献する ②品質管理の継続維持
KPI・目標	①2030 年度までに新規顧客 3 件獲得 ②ISO9001 の継続認定と、2030 年度までに品質不具合年間 0 件を実現

### ②環境に配慮した取り組みの推進

項目	内容
インパクトの種類	環境面でのネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリー	「気候」「廃棄物」
関連する SDGs	 
対応方針	①②環境負荷の低減 ③製造過程の見直し及び再エネ・省エネ設備導入によるCO <sub>2</sub> 排出量の削減
KPI・目標	①ISO14001 の継続認定 ②循環型社会を目指し、事業活動からの廃棄物量を 2030 年度に 50%削減 (2021 年度比) ③CO <sub>2</sub> 排出量を 2030 年度に 50%削減 (2013 年度比)

### ③働きやすい労働環境づくり

項目	内容
インパクトの種類	雇用面でポジティブインパクトの拡大
インパクトカテゴリー	「雇用」
関連する SDGs	 
対応方針	①すべての人が働きやすい労働環境づくり ②DX の推進による業務効率化
KPI・目標	①男女問わず、2030 年度までに育休取得率 100% ②2030 年度までにタブレット導入率 100% （豊田工場からスモールスタートし、作業日報のペーパーレス化、作業要領書のデジタル化を目指す）

## 6. インパクトの管理体制

加藤精工株式会社は、最高責任者を加藤社長として組織的にインパクトの管理体制を整備している。また、加藤社長を中心にコーポレートプランニング室と連携しサステナビリティ経営の充実にに向けた施策の検討及び実施・検証する体制を構築している。

<管理体制>

最高責任者	代表取締役社長 加藤 聡人
担当部署	コーポレートプランニング室

## 7. モニタリング方法

あいぎん PIF で設定した KPI の進捗に対するモニタリングは、管理責任者であるインパクト管理部署と株式会社愛知銀行の担当部署（営業店および営業企画部ファイナンス戦略グループ）が年 1 回以上の協議にて確認する。

協議において、加藤精工株式会社は設定した KPI の達成度について情報を開示する。株式会社愛知銀行は、達成度・進捗度を確認・検証したうえで、必要があれば KPI の修正を検討し、同社に対して適切な助言を行い支援する。

また、モニタリング実施状況については、株式会社格付投資情報センター（R&I）による包括的な年次レビューを受ける。

## 8. 総括

本件については、UNEP FI の「ポジティブインパクト金融原則」に準拠したファイナンスであり、加藤精工株式会社の事業活動がポジティブインパクトの増大およびネガティブインパクトの低減につながることを確認した。また、KPI 達成に向けた取り組みやモニタリングを通じ、持続的な ESG および SDG s への貢献につながる取り組みであることを確認した。

以 上



# セカンドオピニオン

## 愛知銀行 ポジティブインパクトファイナンス

2023年10月31日

## 加藤精工株式会社

ESG 評価本部

担当アナリスト：新井 真美

格付投資情報センター（R&I）は愛知銀行が加藤精工に対して実施したポジティブインパクトファイナンスについて国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）が制定したポジティブインパクト金融原則（PIF 原則）に適合していることを確認した。

R&I は別途、愛知銀行のポジティブインパクトファイナンス実施体制が PIF 原則に適合していることを確認している<sup>1</sup>。今回のファイナンスに関して愛知銀行の調査資料の閲覧と担当者への質問を実施し、実施体制の業務プロセスが PIF 原則に準拠して適用されていることを確認した。

愛知銀行が実施するインパクトファイナンスの概要は以下のとおり。

### (1) 融資先

社名	加藤精工株式会社
所在地	愛知県刈谷市
設立	1960年4月
資本金	50百万円
事業内容	自動車部品製造業
従業員数	226名（2023年8月1日時点）

### (2) インパクトの特定


愛知銀行は融資先の事業内容や活動地域等についてヒアリングを行い、バリューチェーンの各段階において発現するインパクトを分析し、特定したインパクトカテゴリを SDGs に対応させてインパクトニーズを確認した。また、当社の事業活動が影響を与える地域におけるインパクトニーズとの整合性について、持続可能な開発ソリューションネットワーク（SDSN）が提供する SDG ダッシュボードなどを参照し確認した。

### (3) インパクトの評価



愛知銀行は特定したインパクトの実現を測定できるようインパクトの内容を整理して KPI を設定した。ポジティブインパクトは SDGs 達成に寄与する取り組みとして追加性があると判断した。また、愛知銀行グループが掲げるサステナビリティ方針と方向性が一致することを確認した。

<sup>1</sup> 2022年7月13日付セカンドオピニオン「愛知銀行 あいぎんポジティブ・インパクト・ファイナンス実施体制」  
[https://www.r-i.co.jp/news\\_release\\_suf/2022/07/news\\_release\\_suf\\_20220713\\_jpn\\_01.pdf](https://www.r-i.co.jp/news_release_suf/2022/07/news_release_suf_20220713_jpn_01.pdf)

## ① 持続的成長のための基盤構築

インパクトの種類	経済面・社会面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「包括的で健全な経済」「移動手段」
関連する SDGs	
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客様に喜ばれる商品を創造するとともに、豊かな社会に貢献する</li> <li>品質管理の継続維持</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>2030年度までに新規顧客を3件獲得</li> <li>ISO9001の継続認定と、2030年度までに品質不具合年間0件を実現</li> </ul>

## ② 環境に配慮した取り組みの推進

インパクトの種類	環境面でネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリ	「廃棄物」「気候」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境負荷の低減</li> <li>製造過程の見直し及び再エネ・省エネ設備導入によるCO2排出量の削減</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>ISO14001の継続認定</li> <li>循環型社会を目指し、事業活動からの廃棄物量を2030年度に50%削減（2021年度比）</li> <li>CO2排出量を2030年度に50%削減（2013年度比）</li> </ul>

## ③ 働きやすい労働環境づくり

インパクトの種類	社会面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「雇用」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての人が働きやすい労働環境づくり</li> <li>DXの推進による業務効率化</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>2030年度までに、男女を問わず育休取得率100%</li> <li>2030年度までにタブレット導入率100%（豊田工場からスモールスタートし、作業日報のペーパーレス化、作業要領書のデジタル化を目指す）</li> </ul>

## (4) モニタリング

愛知銀行は融資先の担当者との会合を少なくとも年に1回実施し、本PIFで設定したKPIの進捗状況について共有する。日々の営業活動を通じた情報交換も行い融資先のインパクト実現に向けた支援を実施する。

以上

**【留意事項】**

セカンドオピニオンは、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定される関連業務（信用格付業以外の業務であって、信用格付行為に関連する業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置と、信用格付と誤認されることを防止するための措置が法令上要請されています。

セカンドオピニオンは、企業等が環境保全及び社会貢献等を目的とする資金調達のために策定するフレームワークについての公的機関又は民間団体等が策定する当該資金調達に関連する原則等との評価時点における適合性に対するR&Iの意見です。R&Iはセカンドオピニオンによって、適合性以外の事柄（債券発行がフレームワークに従っていること、資金調達の目的となるプロジェクトの実施状況等を含みます）について、何ら意見を表明するものではありません。また、セカンドオピニオンは資金調達の目的となるプロジェクトを実施することによる成果等を証明するものではなく、成果等について責任を負うものではありません。セカンドオピニオンは、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではなく、またそのように解されてはならないものであるとともに、投資判断や財務に関する助言を構成するものでも、特定の証券の取得、売却又は保有等を推奨するものでもありません。セカンドオピニオンは、特定の投資家のために投資の適切性について述べるものでもありません。R&Iはセカンドオピニオンを行うに際し、各投資家において、取得、売却又は保有等の対象となる各証券について自ら調査し、これを評価していただくことを前提としております。投資判断は、各投資家の自己責任の下に行われなければなりません。

R&Iがセカンドオピニオンを行うに際して用いた情報は、R&Iがその裁量により信頼できると判断したものではあるものの、R&Iは、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、セカンドオピニオン及びこれらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明又は保証をするものではありません。

R&Iは、R&Iがセカンドオピニオンを行うに際して用いた情報、セカンドオピニオンの意見の誤り、脱漏、不適切性若しくは不十分性、又はこれらの情報やセカンドオピニオンの使用に起因又は関連して発生する全ての損害、損失又は費用（損害の性質如何を問わず、直接損害、間接損害、通常損害、特別損害、結果損害、補填損害、付随損害、逸失利益、非金銭的損害その他一切の損害を含むとともに、弁護士その他の専門家の費用を含むものとし）について、債務不履行、不法行為又は不当利得その他請求原因の如何やR&Iの帰責性を問わず、いかなる者に対しても何ら義務又は責任を負わないものとします。セカンドオピニオンに関する一切の権利・利益（特許権、著作権その他の知的財産権及びノウハウを含みます）は、R&Iに帰属します。R&Iの事前の書面による許諾無く、評価方法の全部又は一部を自己使用の目的を超えて使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳及び翻案等を含みます）し、又は使用する目的で保管することは禁止されています。

セカンドオピニオンは、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。

**【専門性・第三者性】**

R&Iは2016年にR&Iグリーンボンドアセスメント業務を開始して以来、多数の評価実績から得られた知見を蓄積しています。2017年からICMA（国際資本市場協会）に事務局を置くグリーンボンド原則／ソーシャルボンド原則にオブザーバーとして加入しています。2018年から環境省のグリーンボンド等の発行促進体制整備支援事業の発行支援者（外部レビュー部門）に登録しています。

R&Iの評価方法、評価実績等についてはR&Iのウェブサイト（<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>）に記載しています。

R&Iと資金調達者との間に利益相反が生じると考えられる資本関係及び人的関係はありません。